

「ガールスカウト・丸和 早生樹の森」協定締結

林野庁 関東森林管理局 千葉森林管理事務所

令和3年4月26日に千葉森林管理事務所入札室において、モデルプロジェクトの森「ガールスカウト・丸和 早生樹の森」協定の締結式が開催されました。協定者は、森林総合研究所林木育種センター、ガールスカウト千葉市協議会、有限会社丸和建材社の3者、及び関東森林管理局（千葉森林管理事務所）であり、関係者が参加して協定書への調印を行いました（林木育種センターは、新型コロナウイルス感染症の影響により参加できずメッセージを寄稿いただきました）。

また、これまでは相互に関わりがなかった3者が連携して活動を進めていくため、「『ガールスカウト・丸和 早生樹の森』づくり協議会」を立上げ、協定締結式後に協議会の覚書を取り交わしました。

本協定では、千葉県君津市戸崎国有林の1.50haをフィールドに、生長が早い「早生樹（コウヨウザン、センダン、ユリノキ、キハダ、チャンチン）」を植栽し、低コスト・短期間で緑化が見込める「早生樹の森」を造成します。今回植栽する早生樹の中には日本ではあまり馴染みのない樹種もありますが、林木育種センターがこれらの苗木提供し、成長調査等の試験研究を行います。ガールスカウトでは、多くの子ども達が森づくりに汗を流すとともに、植栽地周辺で自然観察なども実施する予定です。地元企業の丸和建材社からは、植栽に向けた地拵・シカ柵設置等の現地整備やこれらに必要な資材等の提供をいただけることとなっています。また、多くの社員が植栽等の作業に参加予定となっています。このように協定各者の強みや希望を生かし、今後の林業への貢献に加えて子ども達が森林・林業・環境に関心を持つきっかけになるような協定となりました。

早生樹の植栽は2回に分けて行われる予定で、1回目は令和3年5月22日、2回目は令和4年春頃に実施予定とされています。

